

追加資料 1 (20230901)

観光農園等基本計画書

<概要版>

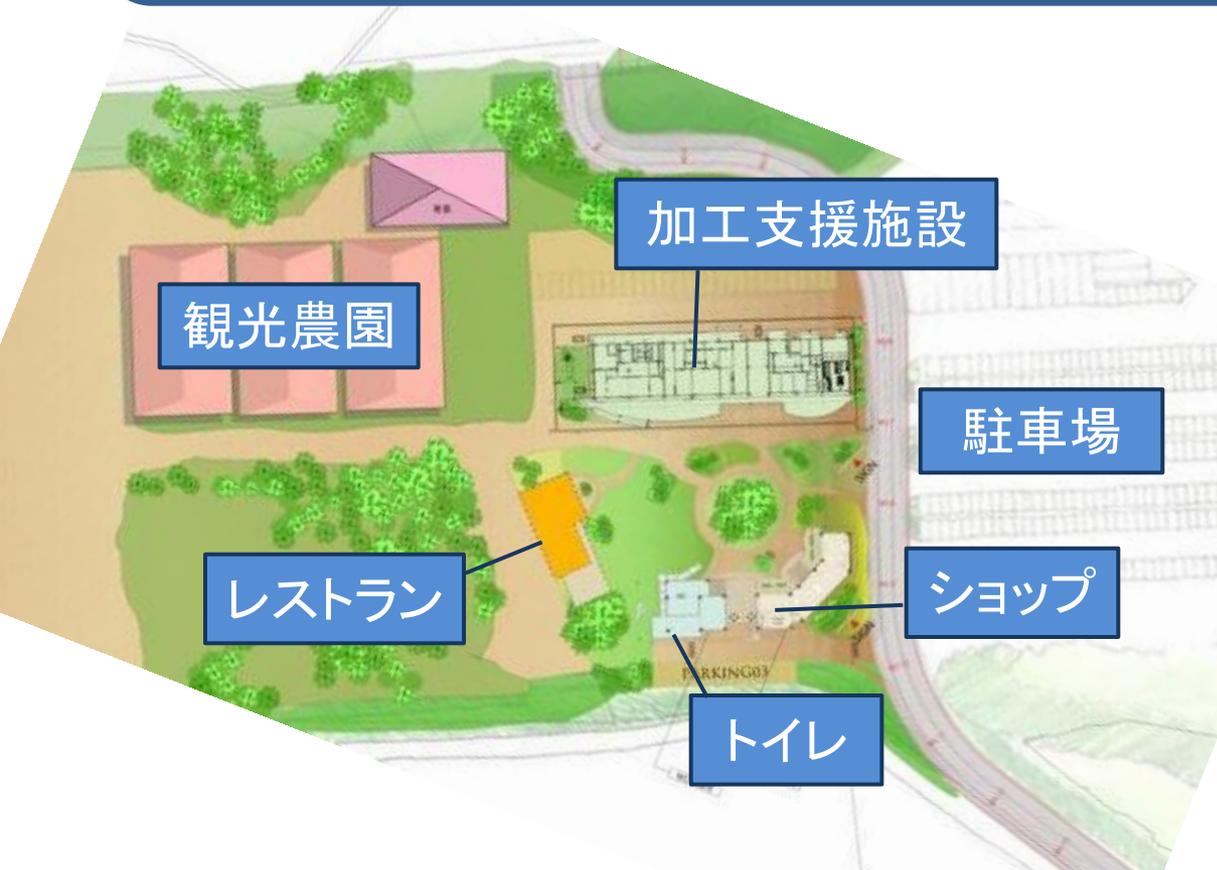
平成26年 3月
名護市 産業振興課

なごアグリパークのあらまし

事業名：名護市農産物6次産業化支援拠点施設整備事業

事業主体：名護市

事業目的：地元農産物に新たな付加価値を加えた商品の
生産、加工、販売による地域農業の振興



第1期 平成26年4月OPEN

- ・加工支援施設
- ・駐車場
- ・付随道路施設

第2期 平成27年4月OPEN

- ・ショップ
- ・トイレ
- ・付随施設

第3期 平成28年4月OPEN

- ・レストラン
- ・観光農園
- ・付随施設

なごアグリパークの位置



沖縄

テーマ

ニーズ

- ★ 亜熱帯気候がもたらす
独特な植生
- ★ 長寿・健康の島

- ★ 「健康」「食」「美容」への
関心の高まり
- ★ 少子高齢化によるアク
ティブシニア層の増加

<テーマ>

—美ら島の輝きを御万人へ—

<コンセプト>

- 沖縄で長寿・健康・美容！
- 安心・安全な薬草・野菜・ハーブ
・スパイス等の提供
- 琉球の色、ストーリー、ロマン
- 環境にやさしいエコシステム



基本方針

- 6次産業化に取り組む農業者へ積極的に働きかけ協力
- 加工品の販売、販路拡大、普及宣伝に努力
- 農産物の加工技術向上、新商品開発や特産品のブランド化への積極的な取組
- 農産物の生産、加工、販売、地産地消に積極的に取組
- 県内未普及の農産物の導入と普及

事業の柱

観光農園

- ・沖縄の島野菜やハーブ、薬草、熱帯果樹の展示・販売
- ・五感で感じる体験型展示

見る



レストラン

- ・薬草や野菜を使った創作鍋料理
- ・県産品を利用したカフェメニュー

食べる



ショップ

- ・地元6次加工製品の販売
- ・加工品の販売

買う



加工支援施設

- ・加工品の開発、製造、見学

生産



- ・料理教室、試飲、試食、各種参加型イベント

体験



グランドデザインコンセプト

グランドデザイン コンセプト

(施設全体のハードコンセプト)

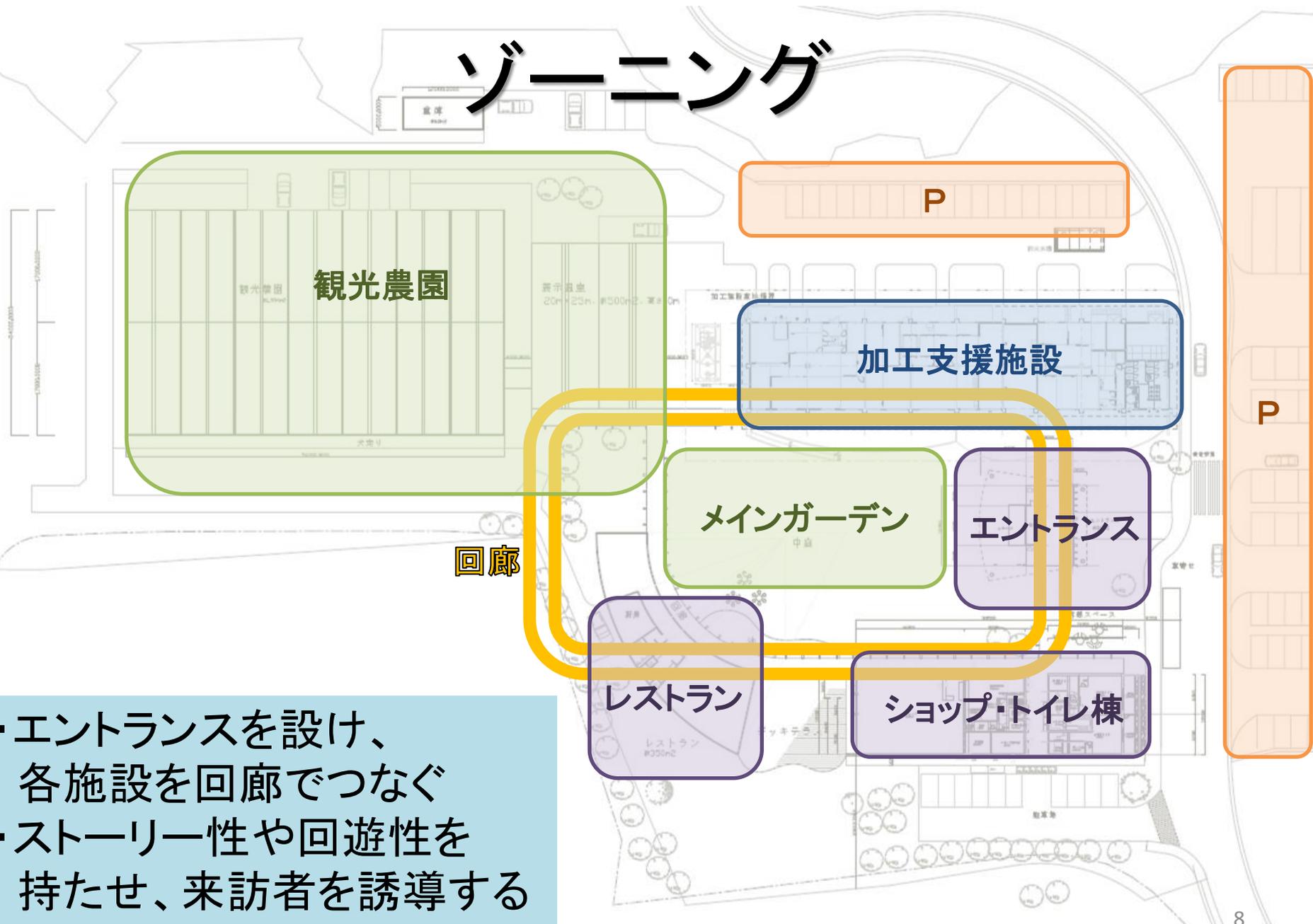
何度訪れても発見のある、魅力あるシーンをめぐる
有機的で回遊性のあるテーマパーク

デザイン コンセプト

(あらゆる部分をデザインする際に意識するキーワード)

1. テーマパークとしての一貫性を大事にした有機的なデザイン
2. 緑を活かしたデザイン
3. 植物を生産し購入する新しいあり方のデザイン
4. いつでも、どの場所でも思い思いに楽しめるデザイン
5. エコロジー&サステイナブルなデザイン

ゾーニング



- ・エントランスを設け、各施設を回廊でつなぐ
- ・ストーリー性や回遊性を持たせ、来訪者を誘導する

観光農園(位置)

生産・展示
ゾーン

展示・鑑賞
ゾーン

- ・展示・鑑賞と生産・展示の2ゾーンで構成

展示・鑑賞ゾーン 約500m²

生産・展示ゾーン 約1,900m²

観光農園(内容)

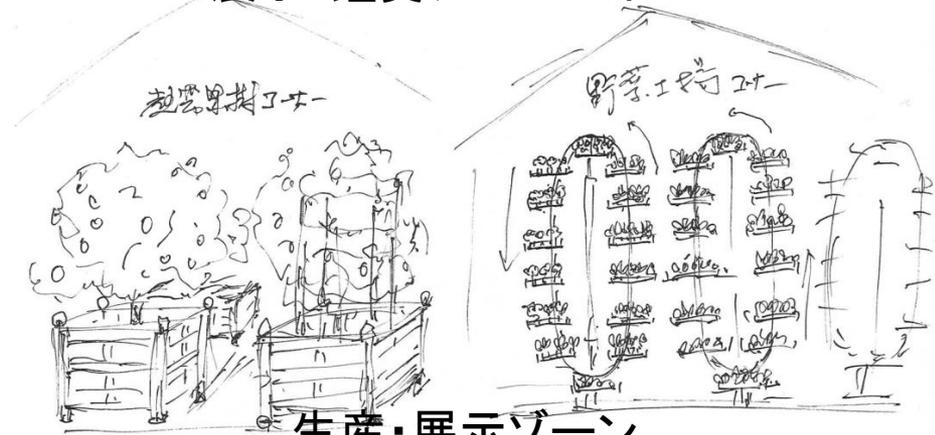
- ・展示・鑑賞ゾーンは、果樹やボリュームのある花を通年展示
- ・生産・展示ゾーン内は、沖縄の島野菜、薬草、ハーブ、熱帯果樹の見本を展示しながら苗を販売
- ・生産・展示ゾーン内の人工光源栽培展示コーナーでは、野菜栽培を通年展示し、システムを紹介、普及



展示・鑑賞ゾーンのイメージ



生産・展示ゾーン見本展示のイメージ



生産・展示ゾーン
熱帯果樹展示のイメージ
人工光源栽培展示
コーナーのイメージ

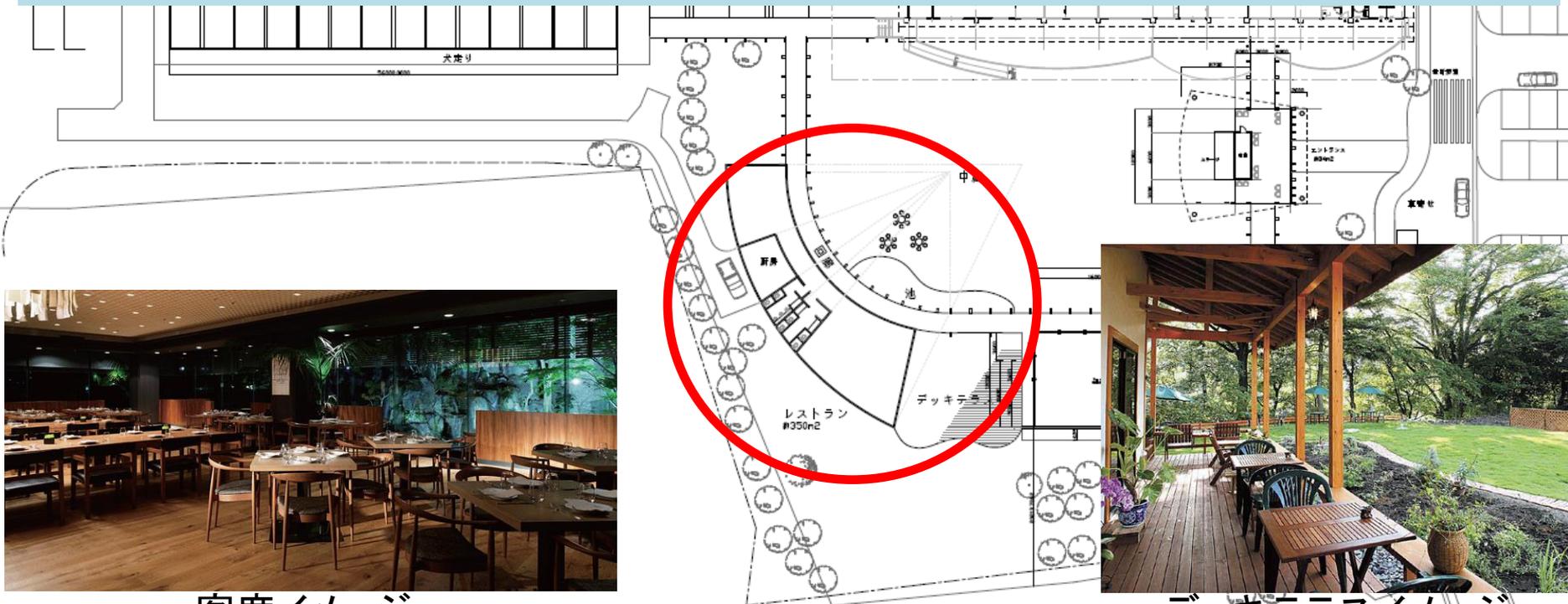
FMLCシステム



レストラン

約350m²

- ・2つの客席空間 { カジュアルな雰囲気でのガーデンダイニング
フォーマルな雰囲気での落ち着いた個室空間
- ・ショップとの間にデッキテラス



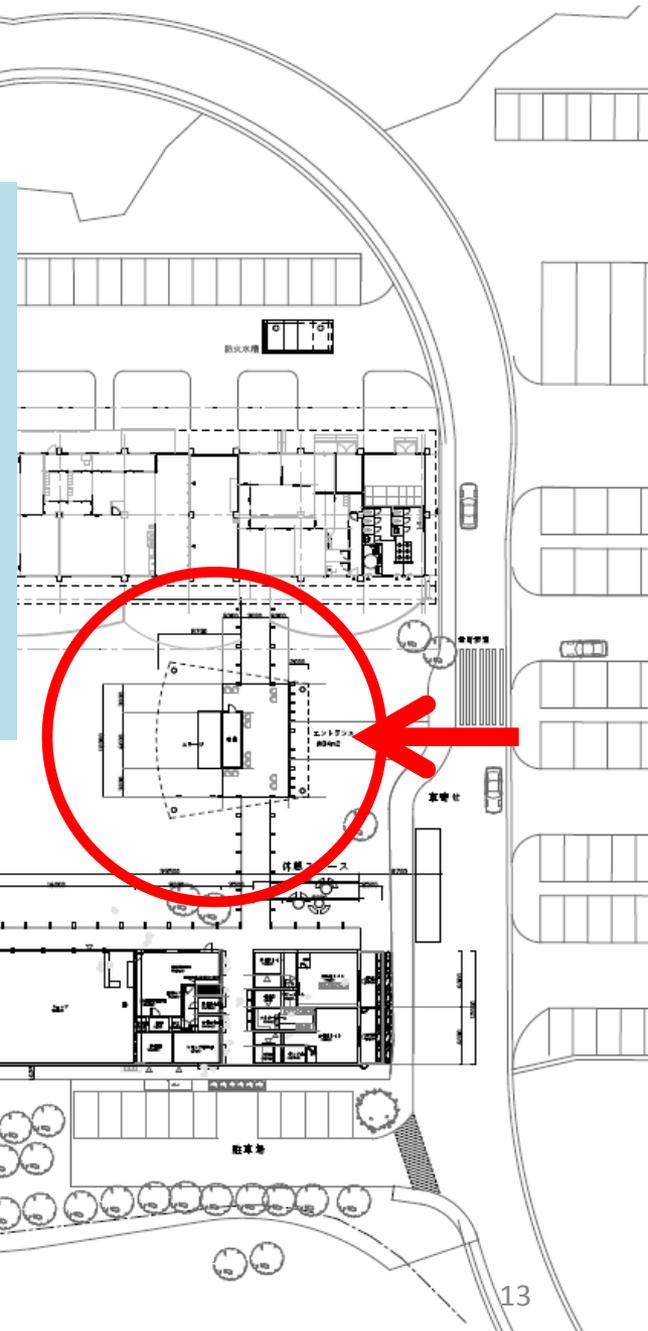
客席イメージ



デッキテラスイメージ

エントランス

- ・回廊の中心に設置することにより、施設の顔としての印象を強くする
- ・車道側歩道からエントランス棟入口に向けてまっすぐに導入歩道を設置
- ・エントランスと車寄せの間には広場を設け、人のたまりを演出

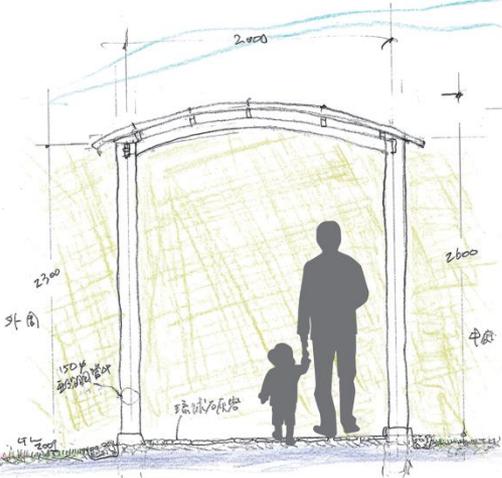
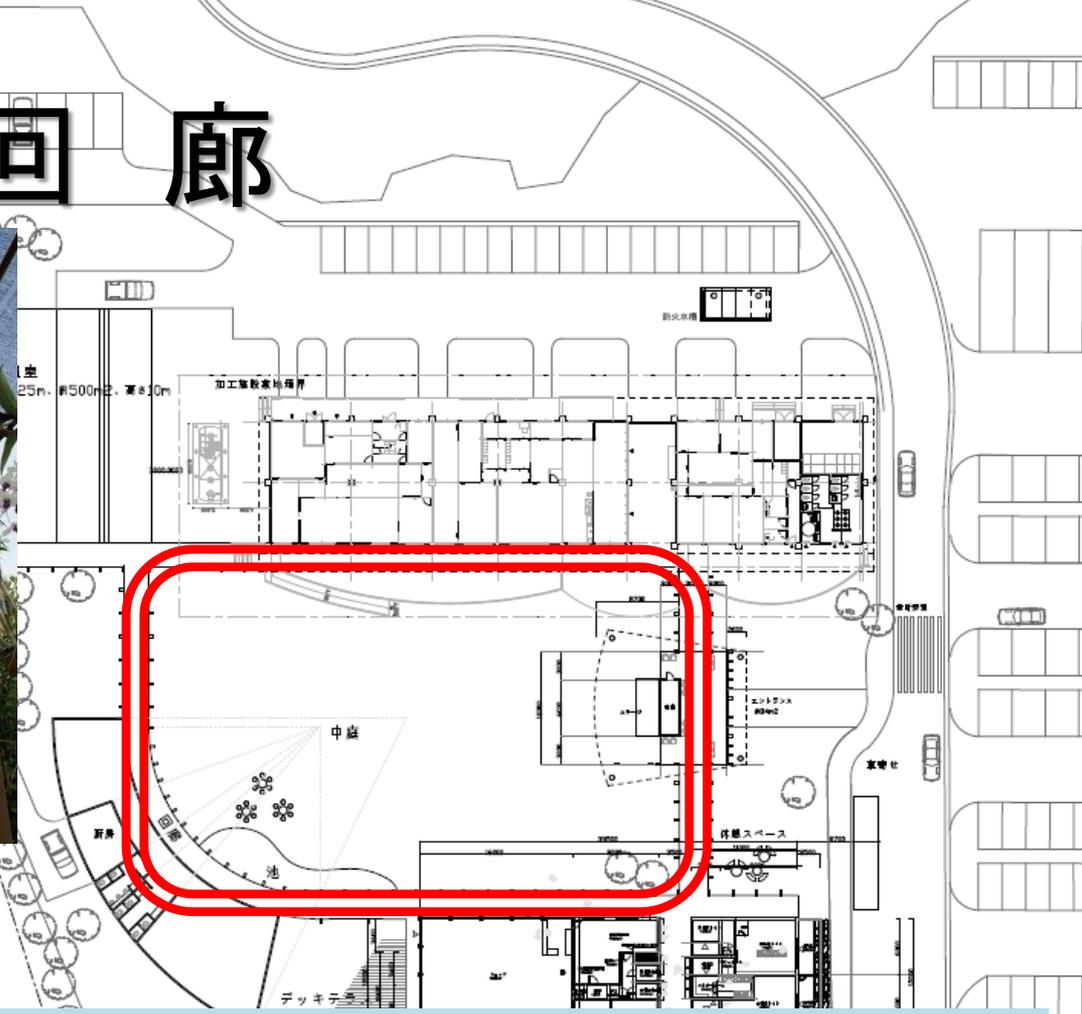


イメージ

回廊



イメージ



- 平面配置や屋根はできる限り直線を用いず有機的なカーブを利用
- 壁は設けず、通風を確保し、フラッグや植栽等を演出

植栽（メインガーデン）

- ・中央部は広い芝地とする
- ・四隅には、大樹やヤシ類、タビビトノキ、タコノキ類等の植栽島を配置し、足元はトロピカル低木や地被類等をあしらう
- ・南隅には、透水性舗装のテラスの休憩コーナーを設け、コバテイシの緑陰には、野外卓を置く



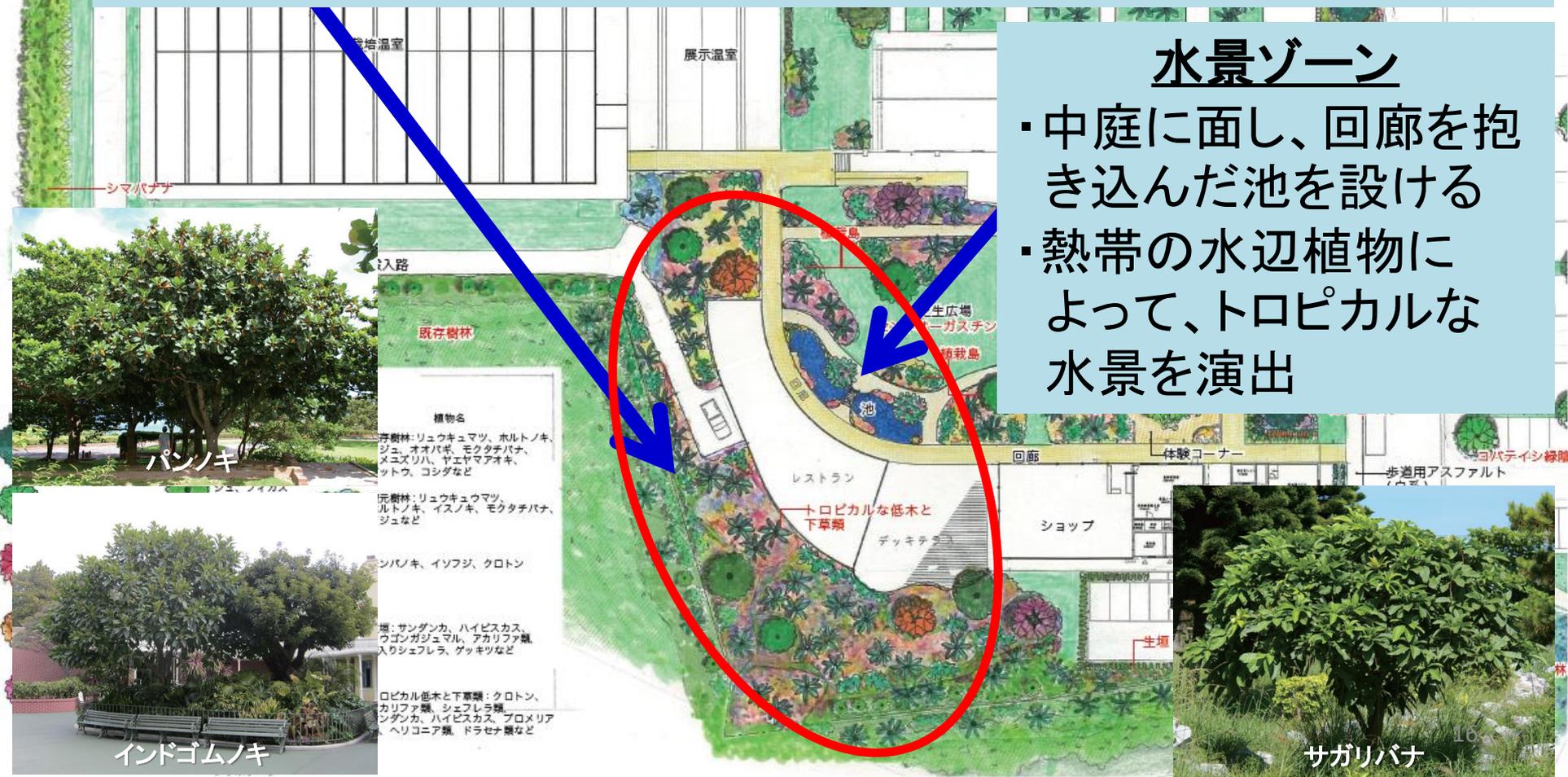
植栽(レストラン周辺)

レストランゾーン

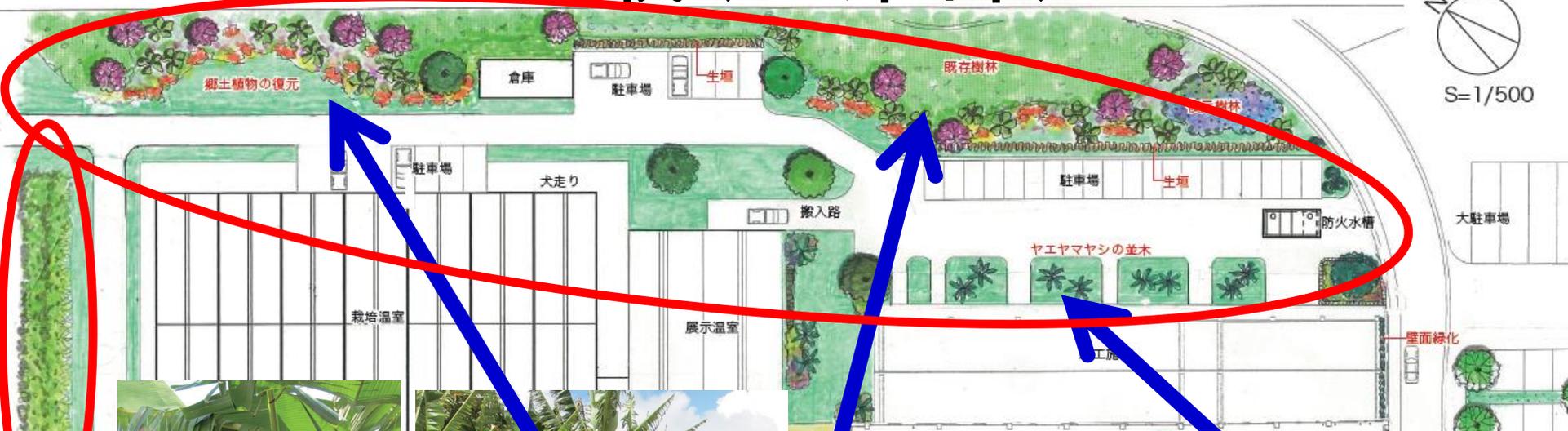
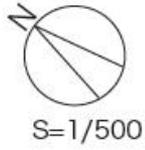
- ・南西側は、パンノキ、インドゴムノキなどの常緑の大樹を配して主景観とし、ヤシ類、タビビトノキ、タコノキ類等を組み合わせる
- ・主木の足元はトロピカル低木の混植で覆う

水景ゾーン

- ・中庭に面し、回廊を抱き込んだ池を設ける
- ・熱帯の水辺植物によって、トロピカルな水景を演出



植栽(北東部)



加工施設の緩衝緑地ゾーン

- ・ 駐車場との間は緑地帯とし、建物に沿ってヤエヤマヤシを配置

郷土植物復元ゾーン

- ・ 既存樹林を背景にして周辺の野山に自生、またはかつて自生していた、観賞価値の高い植物を組み合わせて、名護らしい植物景観をつくる



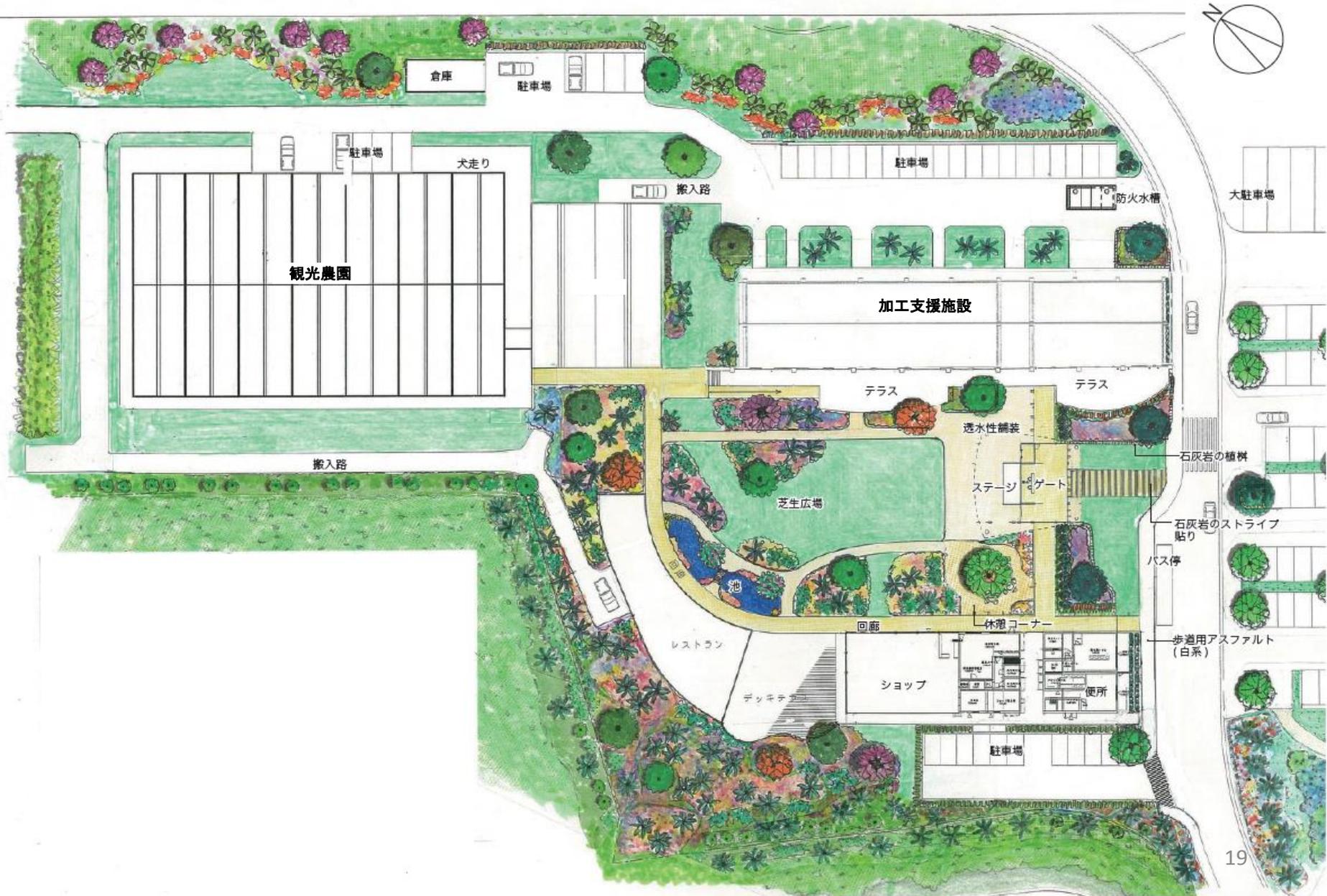
シマバナナ



イトバショウ

- ### 屋外栽培ゾーン
- ・ イベントに使えるシマバナナ、イトバショウ等を栽培

基本計画平面図



ターゲットと目標

入園者のターゲット

【現時点の考え方】

○グランドオープン初年度(H28)は、県内客及びフリーの県外客

○2年目以降は、県外客、海外客の個人・団体

県外客：海洋博公園と連携した旅行商品を造成

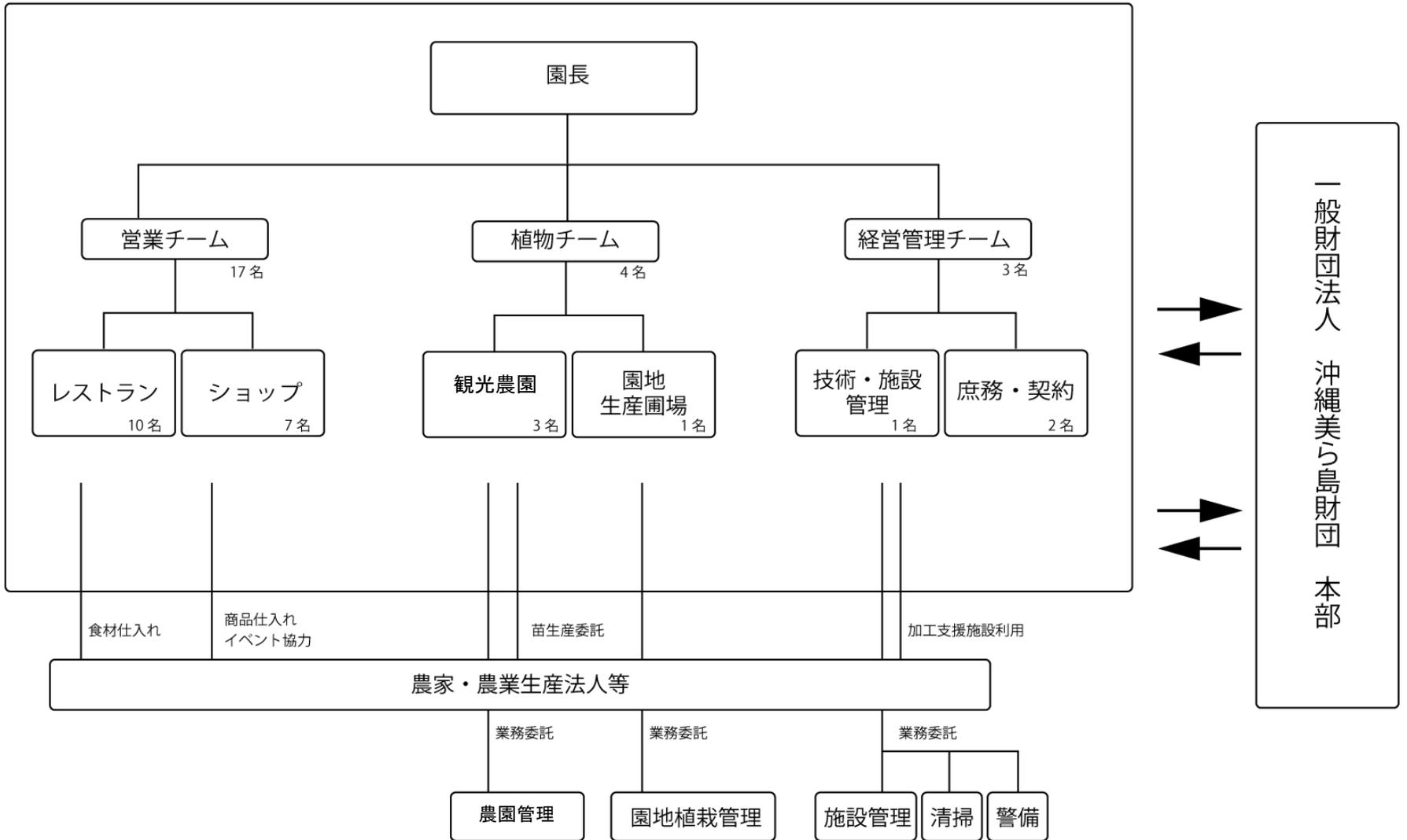
海外客：温食文化のある中華系を主に商品化

目標入園者数及び利用者数

	入園者		ショップ		レストラン		観光農園	
	年間	日当たり	年間	日当たり	年間	日当たり	年間	日当たり
H26年度	1,000	2.7	0		0		0	0
H27年度	10,000	27	3,000	8	0		0	0
H28年度	100,000	274	45,000	123	30,000	82	45,000	123
H29年度	200,000	548	60,000	164	40,000	110	60,000	164
H30年度	300,000	822	90,000	247	60,000	164	90,000	247
H31年度	350,000	959	105,000	288	70,000	192	105,000	288

事業推進体制

なごアグリパーク管理執行体制（平成 28 年度以降）



各施設の運営計画

観光農園

- ・観光農園の入園料は無料
- ・展示・鑑賞ゾーン内外にて年間5～6回花や果樹に関する展示会、その他体験会、各種教室を開催
- ・生産・展示ゾーンの苗は、地元の農家に委託し生産

加工支援施設

(H28以降)

- ・インキュベート入居者から共益費徴収
- ・開発商品は入居者と連携してショップで販売

レストラン

- ・薬草や島野菜を用いた創作鍋料理を主力とし、ビュッフェスタイルで提供
- ・一部カフェ機能を持たせ、沖縄産フルーツ、スムージー、他各種スイーツを提供
- ・テイクアウトも可能
- ・食材は、地元農家に委託し生産

ショップ

- ・名護市を主に沖縄県内で生産された島野菜、ハーブ、スパイス、薬草等の生植物から、それらの加工品、熱帯果樹の加工品等を販売
- ・配置員は事務所管理も行き、アグリパークの運営全体の事務局機能

収支計画

アグリパーク全体経費			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
加工支援施設	使用料収入		2,040,000	3,360,000	4,680,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
	太陽光発電全量売電収入		2,028,000	2,028,000	2,028,000	2,028,000	2,028,000	2,028,000
	指定監理料収入		10,000,000	10,000,000	0	0	0	0
	共益費		0	0	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
	ショップ収入		0	4,500,000	67,500,000	90,000,000	135,000,000	157,500,000
	レストラン収入		0	0	36,000,000	48,000,000	72,000,000	84,000,000
	ハウス		0	0	67,500,000	90,000,000	135,000,000	157,500,000
	収入合計		14,068,000	19,888,000	181,308,000	239,628,000	353,628,000	410,628,000
支出	加工支援施設		14,116,000	14,016,000	12,486,000	12,486,000	12,486,000	12,486,000
	ショップ経費		0	20,093,900	73,158,500	90,128,000	124,067,000	141,036,500
	レストラン経費		0	0	46,077,200	50,969,600	60,754,400	65,646,800
	ハウス経費		0	0	85,157,102	101,926,602	135,865,602	152,835,102
	事務局経費			2,600,000	6,900,000	6,900,000	6,900,000	6,900,000
	土地賃借料				4,896,000	4,896,000	4,896,000	4,896,000
		支出合計		14,116,000	36,709,900	228,674,802	267,306,202	344,969,002
	差額(営業利益)		-48,000	-16,821,900	-47,366,802	-27,678,202	8,658,998	26,827,598
	累計			-16,869,900	-64,236,702	-91,914,904	-83,255,906	-56,428,308